

品川区教育委員会会議記録

平成20年 第6回 定例会

場 所 教育委員室
期 日 平成20年5月13日
開 会 午後2時00分
閉 会 午後3時44分

出席委員	委 員 長 徳岡 壽夫 委員長職務代理者 安尾 久子 委 員 前田 武昭 委 員 細川 珠生 教 育 長 若月 秀夫
欠席委員	

出席職員	教 育 次 長 市川 一夫 庶 務 課 長 田村 信二 学 務 課 長 富田 祥子 指 導 課 長 河野 美和 小中一貫教育担当課長 和氣 正典 生涯学習課長 堀越 明 品川図書館長 小川 陽子 品川区スポーツ協会事務局次長 安藤 正純
------	---

議事運営および 委員長、教育長報 告事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・署名委員に安尾委員、細川委員を指名 ・議事運営の都合上、日程第1第24号議案および25号議案をまとめて審議する。(異議なし)
-----------------------------	--

件名	<p>日程第1 第24号議案</p> <p>学校教育職員の給与に関する条例の立案について</p> <p>日程第1 第25号議案</p> <p>学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の立案について</p>
担当課説明等	(指導課長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件内容について、都条例との違いの具体例を挙げて欲しい。
事務局説明	<p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扶養手当の額が都条例より高くなっていることが、例として挙げられる。
委員意見要旨	<p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件条例に沿って、必要な各規則の制定を進めるように。
議事結果	<ul style="list-style-type: none"> ・原案可決

件名	<p>日程第2 協議事項</p> <p>小学校における教科書採択日程について</p>
担当課	(指導課長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級使用教科書採択の日程を、前田委員の任期である7月20日以前にできないか。新委員が就任してすぐ採択をするのでは、適切な採択に疑問がある。 <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> 校長連絡会にて、教科書について校長の意見を求めることについて説明したようだが、校長からの意見はどうだったか。 <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> 校長以外の各教員個々の意見は聞かないのか。
事務局説明	<p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月20日以前に特別支援学級使用教科書採択の日程が組めるかは、特別支援学級用図書選定検討委員会との日程調整等があるので、検討させていただきたい。 校長連絡会では、教科書採択にあたって、各学校長の意見を求めるという説明を行っただけであり、現在、各学校長から意見を集約しているところである。 校長が各教員の意見を聞くということはあると思うが、最終的には校長としての意見や判断を求めている。
委員意見要旨	<p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日程や手続きの流れ等に問題はないと思われる。
議事結果	<ul style="list-style-type: none"> 了承

件名	日程第3 報告事項1 平成20年春の叙勲受章者について
担当課	(庶務課長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(委員E) ・ 春の叙勲受章者は、例年2名ではなかったか。
事務局説明	(庶務課長) ・ 年によって受章人数に変動はあり、昨年の受章者は2名であったが、今年の受章者は1名であった。
委員意見要旨	(委員C) ・ 可能な限り多くの方に受章していただきたい。
議事結果	・ 了承

件名	<p>日程第3 報告事項2</p> <p>校舎改築事業の進捗状況について</p>
担当課	(庶務課長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築計画の中に安全安心と記載されているが、それはどういったことを考えているか。 <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 八潮地区の学校は地域に開かれていることもあり、一般的に地域住民が学校敷地内に入出りできる状況にあるが、今後はどうなるのか。 <p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三日野小学校について、工事期間中に第二校庭を使用するのであれば、横断歩道の設置を考えなければならないと思うが、使用状況はどうなるのか。 <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の解体について、伊藤学園建設に伴う解体の際には、近隣住民との問題で工期が遅れたが、今回の近隣住民との関係はどうか。
事務局説明	<p>(庶務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築計画の安全安心に関しては、校庭開放など地域に開かれた学校というコンセプトもあるが、子どもの安全を最重要課題に学校セキュリティを考えていきたいと考えている。 ・ 八潮地区都市計画上の関係から、地域住民が学校敷地内に入出りできる状況は、基本的には変わらない。 <p>(教育次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 八潮地区小中一貫校についても、住民が学校敷地内を通れるという状況になるが、地域住民や学校関係者からの要望もあり、低学年(1、2年生)の教室に近い部分に外構工事の際にフェンスを設置し、学校セキュリティ・防犯力を高める予定である。 <p>(庶務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三日野小学校の工事期間中は、第二校庭は使用不可にするので、児童が行くことはない。 ・ 学校の解体および工事について、学校近隣住民から騒音に対すること等、様々な意見をもらっているが、一つずつ説明や説得をしてご理解をしてもらい、予定通り工事を進めていきたいと考えている。
委員意見要旨	<p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の解体・工事を進めるにあたっては、住民の意見が参考になることもあると思うので、意見を大事にして欲しい。 <p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご理解をいただくということは、我慢をいただくということである。そのことを忘れずに工事・解体を進めていってもらいたい。
議事結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 了承

件名	<p>日程第3 報告事項3</p> <p>平成19年度後期財務監査の結果について</p>
担当課	(庶務課長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 監査で指摘された事項について、監査対象になった学校だけではなく、全校に周知することを行っているか。 <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の指摘事項を見ると、事務処理として初歩的なことができていないという印象を受ける。やらなければならないこと自体を知らないのではないか。
事務局説明	<p>(庶務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 監査で指摘があった事項について、具体的な学校名は挙げていないが、校長連絡会等を利用し、各学校長へ指摘内容の周知や指導を行っている。 <p>(教育次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校によって事務処理能力に差異があるので、全校の事務処理能力が標準化するように、向上を図っていきたいと考えている。
委員意見要旨	<p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指摘された事項は、個別の学校名をあげて全校長へ周知してもよいのではないかと思う。 <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 監査指摘事項を参考に、事務処理や施設管理について、気をつけるべき事項やチェック項目を明確にして学校へ提示していくことが必要かもしれない。 <p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設に関しては、安全第一を基礎に整理整頓を常に心掛けてもらいたい。
議事結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 了承

<p>件名</p>	<p>日程第3 報告事項4 平成20年度新入学生学校別増減要因一覧について</p>
<p>担当課</p>	<p>(学務課長) 資料に基づき説明 ・ 増要因の『希望申請』の割合は小中学校ともに昨年度に比べると減少している。これは、地元の学校に通う児童生徒が増加していることを表していると考えられる。</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員B) ・ 減要因の『その他』は何を意味しているのか。</p> <p>(委員E) ・ 学校選択の抽選に外れた場合でも、希望した学校の通学区域内に住居を持てば入学できるのか。</p> <p>(委員B) ・ 他区からの児童生徒の受け入れは行っているのか。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>(学務課長) ・ 減要因の『その他』とは、品川区立以外の学校に進学し、教育委員会事務局として進学先の把握ができなかったものである。把握ができなかった理由は、区立以外の学校へ通う場合には、教育委員会事務局に手続きを行ってもらうのだが、その手続きをされなかったためと考えられる。 ・ 学校選択制をとっているが、学区域制度を撤廃しているわけではないので、学校の通学区域内に住居があれば、その通学区域の学校に入学できる。 ・ 区域外就学については、申請を受け、審査をしたうえで認めている。</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>・ 特になし</p>
<p>議事結果</p>	<p>・ 了承</p>

件名	日程第4 その他 「区立小中学校に関する区民アンケート」報告書資料について
担当課	(学務課長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(委員C) ・ アンケート調査結果について、事務局としてどのような見解をもっているか。 ・ 回答率に関しては、どのように感じているか。
事務局説明	(学務課長) ・ アンケートの対象が区民全体なので、詳しい区民意見が結果に表れている。現在詳しく分析をしている最中だが、小中学生の子どもがいる人といない人で、教育に対する意識の差があると感じている。 ・ アンケート回収率は、平均的ではないかと思う。なお、子どもがいない区民より、子どもがいる区民からの回答率が高くなっている。
委員意見要旨	(委員D) ・ 調査結果において、「教育活動で望むことは何か」という質問項目の結果では、学力定着が最も多くなっている。そして、「学校教育に改善が必要だと感じることは何か」という質問項目の結果では、道徳・人権教育の推進が最も高くなっている。これらを比べると、品川区の学力を定着させる教育活動について、一定の評価をしてもらっていると感じる。 また今後、学校は学力定着だけではなく、規範意識や社会性を身に付けさせる教育も考えていかなければならないと考える。 ・ 学校選択制に対するアンケート結果を見ると、学校選択制が区民にだいぶ浸透してきたと感じる。 ・ 区民が感じている1学年のふさわしい学級数は、教育現場にいる教員らの意見とあまり差異がない。このことから、教育に関して、教育現場の職員が感じていることと区民が感じていることは、近いものがあるのではないかとと思われる。
議事結果	・ 了承

件名	日程第4 その他 平成20年6月の行事予定について
担当課	(庶務課長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	・ 特になし
事務局説明	・ 特になし
委員意見要旨	・ 特になし
議事結果	・ 了承